

令和5年度
学校推薦型選抜Ⅱ
(医学部医学科)

学生募集要項

令和4年11月



令和5年度福井大学医学部学校推薦型選抜Ⅱ日程の概要

医学部医学科
(全国枠・地域枠・福井健康推進枠)

注：福井健康推進枠出願者は出願期間前に※の手続が必要

出願期間
令和4年12月12日(月)～12月16日(金)

※ 福井健康推進枠
(福井県医師確保修学資金) 申請受付期間
令和4年11月18日(金)～12月2日(金)
※福井健康推進枠出願者は期間内に必ず申請してください(申請先：福井県健康福祉部地域医療課)。

大学入学共通テスト
令和5年1月14日(土)～1月15日(日)

(第1次選考は書類選考)

第1次選考合格者発表
令和5年2月7日(火)

最終選考日
令和5年2月11日(土)

最終選考合格者発表
令和5年2月14日(火)

入学手続期間
令和5年2月16日(木)～2月20日(月)

学校推薦型選抜Ⅱ

(大学入学共通テストを課す)

※国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合も含めて)へ出願できるのは、1つの大学・学部に限られるので注意してください。

<注意>

- ・ 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

目 次

I. 医学部の理念	1
II. 医学部の教育目的	1
III. 医学部アドミッション・ポリシー	2
IV. 医学科学学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	
1. 募集人員	6
2. 出願資格及び推薦者数	6
3. 推薦要件	6
4. 出願手続	7
(1) 出願期間	7
(2) 出願方法	7
(3) 出願書類等	8
(4) 出願書類等作成上の注意	10
(5) 検定料の支払方法	10
(6) 大学入学共通テスト受験票の再発行申請者への注意事項	11
(7) 受験票の印刷	11
(8) 障がいのある入学志願者等の事前相談	11
5. 新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項	12
6. 選抜方法等	12
7. 大学入学共通テストの教科・科目・配点等	13
8. 合格者発表等	14
9. 不合格となった場合の取扱い	14
10. 入学手続	14
(1) 入学手続期間・方法	14
(2) 入学手続時に要する経費	14
(3) 留意事項	14
V. 個人情報の利用	15
VI. 入学案内	16

I. 医学部の理念

愛と医術で人と社会を健やかに

真理を探究する知への愛—

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

人命を尊重し人間に共感する人への愛—

それは、病に臥していようが無かろうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探求し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

II. 医学部の教育目的

福井大学医学部は、理念に基づき、人間形成を基盤に生命尊重を第一義とする医の心の態度を体得するとともに、世界水準の医学および看護学の知識と技能を修得し、地域社会や国際社会で活躍できる医療人および研究者を育成する。

○医学科

確かな知識と技能に基づく質の高い臨床能力と、生命尊重を第一義とする共感力と倫理観を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い能力を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的とする。

○看護学科

高い倫理観と良識ある人間性を有し、科学的根拠に基づいた看護を実践でき、知識・技能を生涯にわたり修得し続ける高度専門職業人を育成し、看護学の発展と地域社会に貢献することを目的とする。

Ⅲ. 医学部アドミッション・ポリシー

(1) 医学部で養成する人物像

医 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ① 高い倫理観・責任感，優れた共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を実践できる臨床医を育成する。 ② 医学および関連領域の知識と技能を応用して，医療における高度専門職業人として活躍できる医師・医学研究者を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに，グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる臨床医を育成する。
看 護 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ① 高い倫理観・責任感，良識ある人間性とコミュニケーション力を備えた対象者中心の看護を実践できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ② 看護学及び関連領域の知識と技能を応用し，高度専門職業人として活躍できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた看護を実践できるとともに，グローバルな視点に立ち「ふくい」の地域医療に貢献できる看護師・保健師・助産師を育成する。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

医 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ① 医師となるにふさわしい豊かな人間性，周囲との協調性，コミュニケーション力，責任感を有する人 ② 奉仕の精神を持ち，人を思いやり，尊重することのできる人 ③ 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み，自ら学び続ける学修意欲のある人 ④ 医学・医療を通じて地域社会や国際社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持つ人 ⑤ 地域を愛し，医師として地域医療に貢献することを望む人 ⑥ 医学・生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを望む人
看 護 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護に関心を持ち，将来看護職として，地域医療に貢献したいと考える人 ② 倫理的感性を有し，人間の尊厳と権利を尊重することができる人 ③ グローバル化が進展する社会に関心をもつことができる人 ④ 基礎学力の上にならば，人と地域社会に関心をもって学習に臨める人 ⑤ 協調性がありコミュニケーション能力のある人 ⑥ 誠実な心を持ち，主体的で意欲のある人

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

医学科では，高等学校段階までの数学や理科，英語をしっかりと学び，加えて国語，地歴公民などを含む5教科を総合的に学び，基礎学力が十分身につけていることが必要です。5教科を広く学ぶことで医学を学び生かす基礎学力と応用能力を養い，その中で人間性や協調性，責任感を身につけることを期待します。（医：学生像①-⑤）

医学科学士編入では，理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連，英語等），応用能力，学修意欲が十分身につけていることが必要です。その中で医学における人間性や協調性，責任感共感力やコミュニケーション力，学士としての経験や意欲が醸成されていることを期待します。（医：学生像⑥）

看護学科では，高等学校段階までの数学，理科，英語，国語，地歴公民などの5教科について基礎学力が幅広く十分身につけていることが必要です。その中で人間性やコミュニケーション力を養い，基礎学力の上にならば人と地域社会に関心をもって学習に臨むことを期待します。（看：学生像①②）

(3) 入学者選抜の基本方針

【入学者選抜の基本方針】

医 学 科	<p>様々な資質・背景を持つ多様な人に広く門戸を開くため、次のような選抜方法を行っています。全ての試験に面接試験を課し、医師としての資質・適性・将来性を判断することにより、「求める学生像」に相応しい人の選抜に努めています。</p> <p>①一般選抜（前期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、個別学力検査を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。</p> <p>②一般選抜（後期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、小論文、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、小論文を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。</p> <p>③学校推薦型選抜Ⅱ：全国枠 学習成績や人格に優れた者として高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人を選抜します。</p> <p>④学校推薦型選抜Ⅱ：地域枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者等に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。</p> <p>⑤学校推薦型選抜Ⅱ：福井健康推進枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。</p> <p>⑥学士編入学 大学卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、個別学力検査、書類審査及び面接の成績を総合的に評価して選抜します。個別学力検査では理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）を評価します。面接では学士としての見識と経験、医学を学ぶ目的と強い意欲を判断します。合格者は2年次前期（4月）に編入します。</p>
-------------	---

看護学科	<p>「求める学生像」にふさわしい者を選抜するため、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。また、全ての試験に面接を課し、看護を学ぶ意欲・積極性・表現力・協調性・一般的態度を評価することにより、アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜に努めています。</p> <p>①一般選抜（前期日程・後期日程）</p> <p>高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認められた者に対し、大学入学共通テスト、小論文、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストでは高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。小論文及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。</p> <p>②学校推薦型選抜Ⅰ</p> <p>人物、学力ともに優秀であると高等学校長から推薦された高等学校卒業見込者に対し、小論文、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。小論文及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、書類審査により受験者の資質を評価します。</p>
------	--

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の 3 要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

【医学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○
学士編入学	個別学力検査（自然科学総合）	○	○	
	志望理由書		○	○
	成績証明書	○		
	面接	○	○	○

○は重視するもの

【看護学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○

○は重視するもの

IV. 医学科学学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

1. 募集人員

30人（うち地域枠10人程度，福井健康推進枠10人程度を含む）

2. 出願資格及び推薦者数

① 出願資格

出願枠	出 願 資 格
全 国 枠	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を，令和5年3月に卒業見込みの者及び令和4年3月以降に卒業した者
地 域 枠	『福井県内』の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を，令和5年3月に卒業見込みの者（以下「卒業見込み者」という）及び令和4年3月以降に卒業した者（以下「既卒者」という） 『福井県以外』の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校の卒業見込み者及び既卒者のうち，保護者が令和2年4月1日時点（それ以前も含む）から出願時までの全期間に，福井県内に在住している者
福井健康推進枠	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を，令和5年3月に卒業見込みの者及び令和4年3月以降に卒業した者で，「キャリア形成卒前支援プラン」への参加及び医師免許取得後，「福井県医師確保修学資金 奨学生の卒後勤務に関する考え方」に基づき，引き続き福井県内指定医療機関において地域医療に従事することを確約でき，福井県医師確保修学資金（奨学金）の貸与を希望し，福井県に「奨学金受給意向調査書」及び「福井県キャリア形成卒前支援プラン等適用同意書」を提出した者

② 推薦者数

各高等学校等から推薦できる人数は制限なし

3. 推薦要件

出願枠	推 薦 要 件
全 国 枠	令和5年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験し，かつ，次の要件をすべて満たす者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校における学習成績概評がAに属する生徒のうち，人物，学力ともに優秀であると学校長が責任をもって推薦できる者 ② 本学志願の動機が明確であり，将来医師及び医学研究者として，地域医療や医学の進展に貢献する意欲が旺盛な者 ③ スポーツ・文化活動やボランティア活動等を通して，充実した高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校生活を送っている者 ④ 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校において，物理，化学，生物（理数科にあっては，理数物理，理数化学，理数生物）のうち2科目以上履修した（見込みを含む）者 ⑤ 合格した場合は入学を確約できる者
地 域 枠	上記①から⑤の要件を満たし，かつ，卒業後は，直ちに福井大学医学部附属病院で，連続した3年間の研修（臨床研修及び専門研修）に従事し，「地域医療への従事意志確約書」を提出する者（注：ア）
福井健康推進枠	上記①から⑤の要件を満たし，かつ，医師免許を取得後，引き続き福井県内指定医療機関において地域医療に従事することを確約できる「地域医療への従事意志確約書」を提出する者（注：イ）

注：ア．臨床研修において，本学医学部附属病院との組み合わせであれば，協力病院での研修も

可能です。詳細は、本学医学部附属病院ホームページを参照してください。

(<http://sotsugo.hosp.u-fukui.ac.jp/initial/program>)

イ。「福井健康推進枠」（併願を含む）に出願する者は、福井県ホームページを参照の上、予め手続を行ってください。

(<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/iryoyu/iryoyujusya/syogakukinseido.html> 又は「福井県医師確保修学資金」でキーワード検索)

ウ。「福井健康推進枠」の入学者には、福井県から奨学金が貸与されます。なお、原則として入学後に奨学金を辞退することはできません。

エ。「全国枠」「地域枠」「福井健康推進枠」の間では、下記の表のとおり併願が可能です。十分確認のうえ出願してください。なお併願する場合、インターネット出願画面においては、選択した順に志望順位が付きまますので注意してください。

卒業時期	出身高校等	出願枠			備考
		全国枠	地域枠	福井健康推進枠	
令和5年 3月卒業 見込みの者	福井県内（※）	○	○	○	すべての出願枠の併願が可能
	上記以外	○	×	○（☆）	全国枠と福井健康推進枠の併願が可能
令和4年 3月以降に 卒業した者	福井県内（※）	○	○	○	すべての出願枠の併願が可能
	上記以外	○	×	○（☆）	全国枠と福井健康推進枠の併願が可能

※「出身高校等 福井県内」には6ページの「出願資格 地域枠」の条件を満たす者を含みます。

☆「福井健康推進枠 福井県内以外」の合格者は、福井県からの奨学金貸与の関係上、5名を上限とします。

4. 出願手続

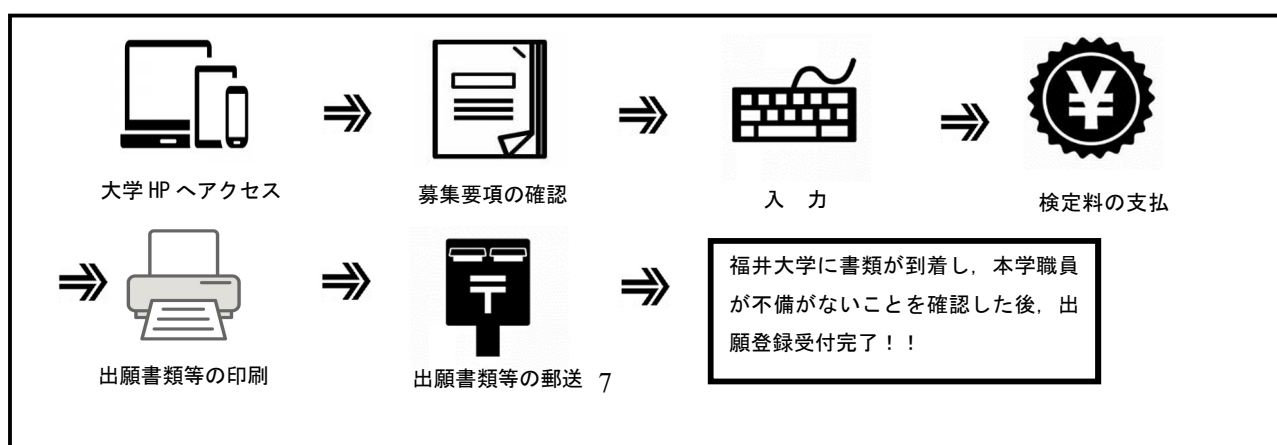
(1) 出願期間

令和4年12月12日（月）～12月16日（金）17時必着

- ① 出願書類等は市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ郵送（書留速達）するものとし、12月16日（金）17時必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち、12月14日（水）までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。
- ② 郵便局で交付される書留郵便受領証等は、大切に保管してください。

(2) 出願方法

○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記 ①～④のすべての手続きが必要です。

① インターネットによる出願情報の入力

出願情報入力可能期間：令和4年12月5日（月）9：00～12月16日（金）17：00

② 検定料の支払い

検定料 17,000円

検定料の詳細は、10ページの「（5）検定料の支払方法」を参照してください。

③ 出願書類等の印刷

④ 出願書類等の郵送

インターネット出願サイトへは、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) からアクセスできます。

出願書類を郵送する際は、市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、「書留速達」で郵送してください。

**提出先 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当**

（注）インターネット出願は、インターネットでの情報入力及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、以下の「（3）出願書類等」に記載している提出書類を郵送（必着）することで完了となります。

（3）出願書類等

① インターネット出願サイトから印刷するもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
出願確認票（提出用）	インターネット出願情報入力後、申込確認ページより A4 サイズでカラー印刷し、提出してください。 なお、出願確認票の右下枠内に「 令和5 共通テスト成績請求票 推薦 国公立推薦型選抜用 」を必ず貼付してください。 注) 出願の時点で大学入学共通テスト成績請求票を受理していない場合でも、出願書類は12月16日（金）17時必着とします。大学入学共通テスト成績請求票は令和4年12月26日（月）までの発信局日付印のある書留速達で出願書類送付先に郵送してください。なお、郵送の際には、出願確認票を再出力し、貼付の上、再送してください。 出願書類送付先： 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は、検定料の支払い及び証明写真のアップロードが完了していないと印刷できません。
出願封筒用宛て名ラベル	インターネット出願情報入力後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 また、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。 封筒は、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を使用し、書留速達で郵送してください。

第1次選考結果返送用ラベル	インターネット出願情報入力後、申込確認ページよりカラー印刷の上、点線で切り取り、郵便切手を貼付し、市販の封筒（長形3号、235mm×120mm）に貼り付けて、封筒ごと他の出願書類とともに送付してください。
---------------	--

②インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

出願書類等	留意事項等
証明写真データ	インターネット出願情報入力及び検定料支払い後、登録完了メールに記載されているURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景・直近3か月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。

③その他必要な提出書類（*は本学所定の様式 本学ホームページから入手可能）

出願書類等	提出者	留意事項等
* 推薦書	全員	出身学校長が作成し、学校印を押印してください。（A4両面印刷） 注）・課外活動、生活状況等、その他特記事項について記入してください。 ・志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記載してください。その際、志願者の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載してください。
* 志願理由書(1)	全員	必ず自書してください。（A4両面印刷）
* 志願理由書(2)	該当者	「地域枠」「福井健康推進枠」（併願含む）に出願する者は、必ず自書にて作成してください。
調査書	全員	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。学習成績概評A段階に属し、人物、学力とも特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄にⒶと標示し、「備考」欄にⒶとした理由を記載してください。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響による、高等学校における臨時休業や大会、資格・検定試験の中止等を踏まえ、第3学年の評定、出席日数、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載不可や記載が少ないこと等をもって、志願者を不利益に取り扱うことはありません。
住民票	該当者	「地域枠」及び「福井健康推進枠」に出願する者で（併願含む）、 福井県以外 の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校の卒業見込者・既卒者のうち、保護者が令和2年4月1日時点（それ以前も含む）から出願時までの全期間に、福井県内に在住している者は出願資格を確認しますので、志願者本人と保護者の住民票を同封してください。
奨学金受給意向調査書および福井県キャリア形成卒前支援プラン等適用同意書受理証(大学提出用)	該当者	「福井健康推進枠」（併願含む）に出願する者は、必ず本学への出願前に福井県ホームページを参照の上、「奨学金受給意向調査書」を福井県に郵送してください（受付期間：令和4年11月18日(金)～12月2日(金)）。その後、福井県から交付される「奨学金受給意向調査書および福井県キャリア形成卒前支援プラン等適用同意書受理証（大学提出用）」を出願書類に添えて提出してください。

*	地域医療への 従事意志確約書	該当者	「地域枠」及び「福井健康推進枠」（併願含む）に出願する者は、所定用紙に必ず自書、及び保護者等による確認署名を受けた上、推薦者（出身学校長）からの推薦を受けて、提出してください。
*	出願書類チェッ クリスト	全 員	確認済の出願書類に <input checked="" type="checkbox"/> を入れ、出願書類と一緒に提出してください。

(4) 出願書類等作成上の注意

① 共通事項

- ア. 文字は黒のインク又はボールペン書き（消せるボールペンは使用不可）とし、楷書で正確に記入してください。数字は算用数字を用いてください。
- イ. 性別は、男・女のいずれかを○で囲んでください。
- ウ. 記載事項は、省略しないで正確に記入してください。
- エ. 記載事項を訂正する場合は、誤記部分を2本線で抹消し必ず本人の印を押してください。修正液等の使用や紙面の削り取りなどはしないでください。
- オ. 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類の返還、並びに記載事項の変更を認めません。
- カ. 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
- キ. 出願書類等の記載が事実と相違した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ク. **本学が指定した令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は受験しても失格となるので、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください（13ページ「7. 大学入学共通テストの教科・科目・配点等」参照）。**

② 推薦書（様式は本学ホームページから入手可能）

推薦書は、ワープロソフトを使用しての作成も可としますが、ワープロソフトで記載した文書を貼り付ける場合は、学校印等で割印してください。

ア. 推薦する理由

- ・ 本人を推薦する根拠と、医学を学ぶ能力と適性について記入してください。
「地域枠」及び「福井健康推進枠」（併願含む）で推薦する場合は、特にその理由について記入してください。

イ. 勉学に対する所見

- ・ 勉学の自発性・計画性・持続性・理解力、得意科目などについて記入してください。
また、各学年における学年全体の成績順位（何人中何番）及びクラスでの成績順位（何人中何番）を記入してください。順位がでていない場合は、推定順位を記入し、空欄に推定と記入してください。

ウ. 人物に対する所見

- ・ 調査書の「備考」欄と重複しないよう具体的に記入してください。

エ. 特記事項

- ・ 課外活動、生活状況等、その他特記事項について記入してください。

③ 志願理由書(1)（様式は本学ホームページから入手可能）

志願者本人が本学の当該学科を志願する理由について、所定の用紙に**自筆**で記入してください。

④ 志願理由書(2)（様式は本学ホームページから入手可能）

「地域枠」及び「福井健康推進枠」（併願含む）に出願する者は、将来、福井県の地域医療にどのように貢献したいかについて所定の用紙に**自筆**で記入してください。

(5) 検定料の支払方法

① 検定料 17,000円

* 検定料の他に、別途支払手数料が必要です。

② 支払期間

令和4年12月5日（月）～12月16日（金）* 出願期間とは異なります。

ただし、出願は郵送に限るため、12月16日（金）17時必着であることに特に注意して早めに支払ってください。

③ 支払方法

コンビニエンスストア、銀行 ATM (Pay-easy での支払い)、クレジットカード (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club) 及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。

④ 支払いに際しての留意事項

- ア. 銀行窓口での支払いはできません。
- イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払いはできません。
- ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
- エ. 支払手数料は、入学志願者本人の負担です。

⑤ 検定料の返還に関する留意事項

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済みの検定料は返還しません。該当者は、速やかに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当に問い合わせてください。

ア. 検定料の全額返還請求ができる者

- 検定料支払い後、出願書類等を提出しなかった者又は出願が受理されなかった者
- 検定料を誤って二重に支払った者

イ. 検定料の一部（13,000円）返還請求ができる者

- 第1段階選抜で不合格となった者
- 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者

ウ. 検定料の返還請求の方法

アの場合

- ①返還請求の理由、②志願者氏名・フリガナ（自署・押印）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤志願学部・学科・課程、⑥自己受取用の銀行名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義（フリガナ：志願者本人名義）を明記した検定料返還請求願（①～⑥が明記されていれば、特に様式は問いません）を作成し、必ず「出願確認票（提出用）」を添付してください。

イの場合

関係書類を送付しますので、その指示に従って請求してください。

返還請求期限 令和5年3月31日（金）17時必着

【問い合わせ・請求先】 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当
電話 0776-61-8830

(6) 大学入学共通テスト受験票の再発行申請者への注意事項

大学入学共通テスト受験票の再発行を申請した場合は、その旨を速やかに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ申し出てください。

(7) 受験票の印刷

令和4年12月22日（木）9時から、インターネット出願サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、A4サイズでカラー印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ連絡してください。連絡先 0776-61-8830

(8) 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和4年11月18日（金）までに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ申し出てください。ただし、期限後に不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合には、速やかに相談してください。

事前相談の方法や受験上の配慮の一例等については、本学ホームページ
(<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

5. 新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、試験場内では、昼食時を除き、**必ずマスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）**してください。（アレルギー等やむを得ない理由でマスクの着用が困難な場合は、原則2日前までにその旨松岡キャンパス学務課入試担当まで申し出てください。）休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話を極力控えるようにしてください。
- (2) 試験室への入退出を行うごとに、備え付けのアルコール製剤で必ず手指消毒を行ってください。
- (3) 試験室の換気のために窓の開放等を行う時間帯があります。
- (4) 昼食が必要な者は必ず持参してください。食事は黙食とし、自席で監督者の指示に従って食事をしてください。
- (5) 試験が終了しても試験場内ではマスクを着用し続けてください。マスクを取り替えた場合であっても、試験場内にマスクを廃棄しないでください。試験終了後は、各自寄り道などはせず、なるべくまっすぐ帰宅してください。帰宅後はまず手洗いやうがいを行ってください。

「新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準」

以下の枠内記載の状態にある者は、**受験できません**。また、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

なお、試験場における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止し、受験生が安心して受験できる環境を確保するために、発熱・咳等の症状がある者は、あらかじめ医療機関で受診するようにしてください。試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい者が発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状（※）がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、受験の可否について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがあります。）に相談してください。

＜受験できない者＞

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊療養施設において療養中の者
- ② 試験日時時点で保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者
- ③ 海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中（注）の者
- ④ ※の症状により、かかりつけ医等に相談の結果、受験を控えるよう診断された者

（注）『入国後の待機期間』については、外務省ホームページを参照願います。

6. 選抜方法等

選抜方法

① 第1次選考

大学入学共通テストの成績（13ページ参照）により、第1次選考（書類選考）を行い募集人員の約3倍の合格者を決定します（書類選考のため、来学する必要はありません）。

② 最終選考

第1次選考合格者に対し面接及び提出された推薦書、調査書、志願理由書による選考（面接は、医学科学生としての適性、能力等を評価します）を行い、第1次選考結果と総合して合格者を決定します。

最終選考日

令和5年2月11日（土）

集合場所

医学部 講義棟（巻末の試験場案内図参照）

※面接控室は当日、掲示で案内します。

<試験科目及び試験時間>

試験科目	試験時間	備 考
面 接	9:00～18:00	個人面接により、人間性、自主性、思考力、責任感など医学科学生としての適性や能力等に加え、地域医療に対する意欲についても評価します。なお、終了時刻は予定です。

※面接の配点は公表しません。

受験上の注意事項

- ア. 受験者は、受験票、筆記用具、大学入学共通テスト受験票を持参のうえ、第1次選考結果通知書に同封した案内に記載の集合時刻までに面接控室に入室してください。なお、受験票及び大学入学共通テスト受験票を忘失・紛失（又は破損）した場合には、係員に申し出て再発行などの措置を受けてください。
- イ. 集合時刻に遅刻した場合は、特別の事情がない限り受験を認めません。
- ウ. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。
- エ. 面接控室入室時から試験がすべて終了するまでは、試験場（面接控室含む）外へ出ることはできません。
- オ. 携帯電話・スマートフォン等の通信機器や音の出る機器は、試験場（面接控室含む）に入る前に必ず電源を切り、かばん等に入れてください。携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。
- カ. 必要に応じ昼食を持参し、休憩時間中に面接控室内で適宜食事をしてください。
- キ. 試験当日は、自家用車で来た場合には、所定の駐車場（巻末の試験場案内図参照）に駐車してください。

7. 大学入学共通テストの教科・科目・配点等

	受験を要する教科・科目 (5教科7科目)	配点 (900点)
国 語	「国語」	200
地理歴史 公 民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「倫理, 政治・経済」から1科目を 選択	100
数 学 ①	「数学Ⅰ・数学A」	100
数 学 ②	「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1科目を選択	100
理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目を選択	200
外 国 語	「英語」	200

注：ア. 本学が指定した令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は失格となるため、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。

- イ. 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
- ウ. 「地理歴史」, 「公民」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。
- エ. 外国語「英」は、リーディングの得点（100点満点）を150点に、リスニングの得点（100点満点）を50点に換算し、合計得点（200点満点）を本学の配点に換算します。

ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点（100点満点）を本学の配点に換算します。

8. 合格者発表等

第1次選考

令和5年2月7日（火）16時

最終選考

令和5年2月14日（火）16時

福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格通知書を郵送します。なお、福井大学松岡キャンパス管理棟前掲示板での合格発表は行いません。

また、出身学校長には当該校からの志願者全員の結果通知書を郵送します。電話等による可否の問い合わせには一切応じません。なお、医学科の第1次選考のみ、不合格者にも通知を行います。

9. 不合格となった場合の取扱い

学校推薦型選抜不合格者は、本学を含む、国公立大学の一般選抜を受験できます。

ただし、この場合は、令和5年度大学入学共通テストの指定教科・科目の受験、一般選抜の検定料の納付や出願書類の提出等、一般選抜出願先が定める手続きが必要です。早めに当該学生募集要項を入手し、志願者本人がその学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。

10. 入学手続

最終選考合格者には、「入学手続要項」等を合格通知書とともに郵送します。

入学手続に関するすべての事項は、合格者本人がこの入学手続要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

(1) 入学手続期間・方法

令和5年2月16日（木）～2月20日（月）17時必着

① 入学手続（書類等の提出）は、本学所定の封筒に大学入学共通テストの受験票を同封のうえ、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当への書留速達便での郵送に限るものとし、**入学手続期間内必着とします。**

② 期限後に到着したものは、**いかなる理由があっても一切受理しない**ので郵便事情等を考えて早めに送付してください（期間前到着は可、持参提出は不可）。

(2) 入学手続時に要する経費

① 入学料 282,000円（予定額）

② 授業料 前期分 267,900円（年額535,800円）（予定額）

注：ア. 入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

イ. 入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

(3) 留意事項

① 合格者は(1)の入学手続期間内に入学手続を完了してください。なお、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、本学学校推薦型選抜合格者としての権利を失います。また、次の②により入学辞退を許可された者でなければ、本学を含む、国公立大学の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。

- ② 特別な事情により入学辞退の必要が生じた場合には、あらかじめ本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当に連絡のうえ、令和5年2月20日(月)15時までに、出身学校長から「学校推薦型選抜辞退願(様式任意)」(具体的な理由を明記し、本人が署名・押印したもの)を本学学長あてに提出し、認められた場合に限り、入学辞退を許可します。この場合を除き、出願済みの国公立大学を受験しても合格にはなりません。
- ③ 学校推薦型選抜合格者は、入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないまま放置することがないように留意してください。
- ④ 地域枠及び福井健康推進枠合格者については、入学手続時に地域医療への従事に係る誓約書を提出していただきます。

V. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備(学籍管理、履修準備含む)、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合(なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります)
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合
- 4) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報(氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る)を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に情報提供する場合

また、福井県医師確保修学資金の貸与に係る業務のため、学校推薦型選抜(福井健康推進枠)合格者氏名を、福井県健康福祉部地域医療課に送達します。

なお、出身学校長には、合否を文書で通知します。

【問い合わせ先】 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当
電話 0776-61-8830

VI. 入学案内

福井大学医学部は、昭和55年4月に福井医科大学として開学し、平成9年4月には、この基盤の上に、保健医療に対する社会の要請に応えるため、医学部看護学科も設置され、多くの優れた人材を送り出すとともに、医学の進展に貢献してきました。

また、平成15年10月には、福井大学との統合により、福井医科大学は福井大学医学部として新たなスタートを切りました。

福井大学医学部は、九頭竜川河畔の広大な敷地に最新の施設と設備を整え、医学及び看護学の教育・研究・診療において、特色のある新しい大学を建設していこうという意欲に満ちた学部です。志望する学問に対して強い憧憬を懐き、その勉学に情熱を持ち、また、本学の新しい学風づくりに努力を惜しまないような入学者を期待しています。

1. 医学科

(1) 教育目的

確かな知識と技能に基づく質の高い臨床能力と、生命尊重を第一義とする共感力と倫理観を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い能力を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的とする。

(2) カリキュラム

昨今の医学知識量の増大に対応し、医学の円滑な学修を行うため、従来の基礎医学、社会医学、臨床医学といった区分を取り払い、基礎医学と臨床医学を有機的に関連付けて学べるような統合型カリキュラムを導入しています。

① 教養教育と医学導入

医療人として必要な素質を涵養するために重要な「教養教育や語学教育」などが含まれます。更に、医学を志す学生の明確な動機付けのために、「大学教育入門セミナー」などの医学導入教育を実施します。

② 医師として求められる基本的な資質・能力

「プロフェッショナリズム」、「医学知識と問題対応能力」、「診療技能と患者ケア」、「コミュニケーション能力」、「チーム医療の実践」、「医療の質と安全の管理」、「社会における医療の実践」、「科学的探究」、「生涯にわたって共に学ぶ姿勢」についての学修内容から構成されています。

③ 基本事項

医学教育の6年間を通じて身につけるべき最も重要な、患者中心の医療を展開するために「医の倫理」、「患者の権利」、「チーム医療」などに関わる事項と、「課題探求・解決能力」の育成に関わる学修内容から構成されています。

④ 医学一般

医学医療の基礎となる生命科学の基本的知識と疾患の原因と発症の機序について、従来の学問体系の枠を超えた学修内容から構成されています。

⑤ 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療

人体の各器官の構造と働き、疾患の診断と治療に関して、効果的効率的に理解しやすいよう系統立てた学修内容で構成されています。

⑥ 全身に及ぶ生理的变化、病態、診断治療

感染症やアレルギーなど全身に影響が及ぶ疾患、人の誕生から死に至るまでの変化と疾患についての学修内容から構成されています。

⑦ 診断の基本

頭痛、発熱、めまい、下痢など「症状から診断」の視点で構築された学修内容、更に診療に参加する前に身につけておくべき医師としての態度・診療技能、診断と治療の基本に関する学修内容から構成されています。

⑧ 社会と医学・医療

「社会・環境と健康」、「疫学と予防医学」など、医学・医療に関わる環境と健康や保健

・医療・福祉・介護など社会的側面に関する学修内容から構成されています。

⑨ 臨床実習

内科系・外科系における診療参加型実習を中心として、基本的な臨床能力（態度・技能・知識）を身につける学修内容から構成されています。

⑩ 研究実践初級・上級コース、アドバンスト医科学研究コース

医学科学生が共通して修得すべき必須の学修内容を十分修得した後、学生各自の興味ある医療・医学の先端的進歩状況の理解など、専門的あるいは関連する広範囲な学修内容を研究実践初級・上級コース、アドバンスト医科学研究コース（選択）として履修します。

(3) 地域定着プログラム

地域枠及び福井健康推進枠の合格者には、入学後選択可能な学修について大学が指定するほか、夏季休業期間中に地域の診療所等でボランティア活動を行う等の地域医療に関する教育プログラムを受けてもらいます。

(4) 取得可能資格等

6年間の課程を卒業すると学士（医学）の学位が授与されるとともに、医師国家試験受験資格を得ることができます。

(5) 共用試験（CBT^{※1}・OSCE^{※2}・Post-CC OSCE^{※3}）

共用試験実施評価機構が全国の医学科生を対象に実施する試験です。受験料が必要となります。

CBT^{※1}：コンピューターで知識の理解度を問う試験。4年次に実施。

OSCE^{※2}：態度・基本的臨床技能を医療面接・身体診察により問う試験。4年次に実施。

Post-CC OSCE^{※3}：「診療参加型臨床実習」を終えた学生を対象に、臨床研修開始時に必要な能力を有しているかを評価する試験。6年次に実施。

※1 CBT =Computer Based Testing 知識・問題解決能力の客観的評価試験

※2 OSCE=Objective Structured Clinical Examination 客観的臨床能力試験

※3 Post-CC OSCE=Post-Clinical Clerkship OSCE 臨床実習後客観的臨床能力試験

(6) 卒後臨床研修

医師国家試験の合格者は、医師免許を取得した後、2年間の卒後臨床研修が必要です。

2. 入学時の諸経費

(1) 入学金・授業料

種別	金額	備考
入 学 料	282,000 円（予定額）	入学時1回限り
授 業 料	年額 535,800 円 （予定額）	年2回（前期5月，後期11月）に分けて納入してください。また、申し出により前期分を納入の際に後期分（前期分と同額）も一括して納入することができます。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

入学金免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

「大学等における修学の支援に関する法律」により、日本学生支援機構給付型奨学金受給者は、入学金・授業料の全部又は一部が免除となります。

また、経済的理由により入学金等の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学金及び授業料の徴収を猶予することがあります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

(2) 保険

本学では、教育研究活動中の事故の備えとして、入学時にすべての学生が傷害保険及び個人賠償責任保険に加入することを原則としています。

① 学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

本学では、（公財）日本国際教育支援協会が運営する本保険を取り扱っています。

保険料は、入学時に卒業までの保険期間分を一括納入することになっています。

また併せて、実習中、実験中、インターンシップ・ボランティア活動中（ただし、大学が正課、学校行事と位置付けているもの）等に生じる事故への備えとして、学研災付帯賠償責任保険（略称：学研賠）や、日常生活の病気や事故・賠償責任等も24時間補償する学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）もあります。

② 学研災付帯学生生活総合保険、医学生総合補償制度、（大学生協）学生賠償責任保険 ※医学部のみ必須

日常生活（24時間補償）での負傷はもとより、他人に対する賠償責任や臨床・臨地実習中における偶発的な事故等（針刺し事故等）万一の時に備えるものです。本学では、加入していない者は臨床・臨地実習を認めません。何れかの保険に加入してください。ただし、学研災付帯学生生活総合保険の加入には学研災への加入が必要です。

3. 学生生活

(1) 奨学金制度

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や大学独自奨学金及び都道府県・公益法人等の奨学制度があります。

○ 独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

<貸与型>

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。

なお、日本学生支援機構が定める学業成績・収入基準を満たす場合には、「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。

貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は、必ず返還しなければなりません。

種類及び貸与月額

<学部学生>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	【自宅月額（自宅通学者）】 ・最高月額 45,000 円 ・最高月額以外 20,000 円又は 30,000 円 【自宅外月額（自宅外通学者）】 ・最高月額 51,000 円 ・最高月額以外 20,000 円、30,000 円 又は 40,000 円	無利子 ※自宅外通学者は「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することが可能 ただし、申込み時における家計支持者の年収が一定額以上の場合は各区分の最高月額以外の月額から選択する ※給付奨学金と併せて貸与を受ける場合、貸与月額が調整されます。
第二種奨学金	20,000 円から 120,000 円までの 1 万円単位の金額の中から選択	有利子（在学期間中は無利子） 利率の算定方法は固定型、又は見直し型より選択

貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので、奨学金の利用を予定している年度の開始前（3月初旬以降）に、日本学生支援機構のホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）にて改めて確認してください。

<給付型>

日本学生支援機構が定める基準を満たし、奨学生に採用された場合、「高等教育の修学支援新制度」の支援を受けることができる、原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づき判定された支援区分、通学形態（自宅・自宅外）等により、支援額が決定します。

- ・文部科学省（高等教育の修学支援新制度）
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm
- ・日本学生支援機構（奨学金の制度（給付型））
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

○ 大学独自奨学金

◆福井大学基金予約型奨学金

福井大学への進学を強く希望している受験生（現役生対象）に対し、入学後の修学に必要な経済的支援を行うことを目的とした奨学金です。入試出願前に奨学金を申請して、内定した方が入試に合格し入学した場合、所定の手続きを取ることで入学後に30万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

詳細は、本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「トップページ」→「受験生の方へ」内の「学生生活」福井大学基金予約型奨学金から確認してください。

◆福井大学学生修学支援奨学金

福井大学基金及び福井大学運営費による給付型奨学金制度です。経済的困窮度の高い者から選考します。募集時期は秋頃です。

◆福井大学生協奨学金

福井大学生協生活協同組合からの寄付金による給付型奨学金制度です。経済的困窮度の高い者から選考します。募集時期は秋頃です。

◆福井大学医学部同窓会「白翁会」国重奨学給付金 ※医学部医学科のみ対象

本学医学部医学科卒業生の故国重昌彦先生が、学生時代経済的に苦勞した経験から、医学科へ進学希望し入学した者や在学生の経済的支援を目的に、医学部同窓会「白翁会」に寄附された基金をもとにした奨学金制度です。

①入学支援金予約型

医学科入試出願を予定し、入学に際し真に経済的に困窮している受験生に対する支援金です。入学し、所定の手続き後に80万円を給付します。給付は入学時1回のみで、返還の必要はありません。

②修学支援金

真に経済的に困窮している医学科在学生への支援金です。原則として在学中1回のみ、50万円が給付され、返還の必要はありません。

詳細については「白翁会」ホームページ（<https://sites.google.com/view/hakuoukai/home>）「トップページ」→「国重奨学給付金」から確認してください。

○ 都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、入学後、奨学生の募集がある場合に随時、案内します。

※奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

学校保健安全法に基づき、学生の定期健康診断を春期に実施しています。

また、日々の健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センター、松岡キャンパスに保健センター、敦賀キャンパスに健康相談室があり、身体面・精神面の健康について医師・臨床心理士・看護師・保健師等に相談をすることができます。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応じる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11月に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定 員	新入生入居 募 集 人 員	構 造	室定員	寄 宿 料	光熱水料等	所在地
国際交流 学生宿舎	209人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建…1棟 4階建…2棟	1人	月額 5,800円 (予定額)	月額 約10,000円	〒910-0017 福井市文京5-13-10 (文京キャンパス から徒歩約8分)

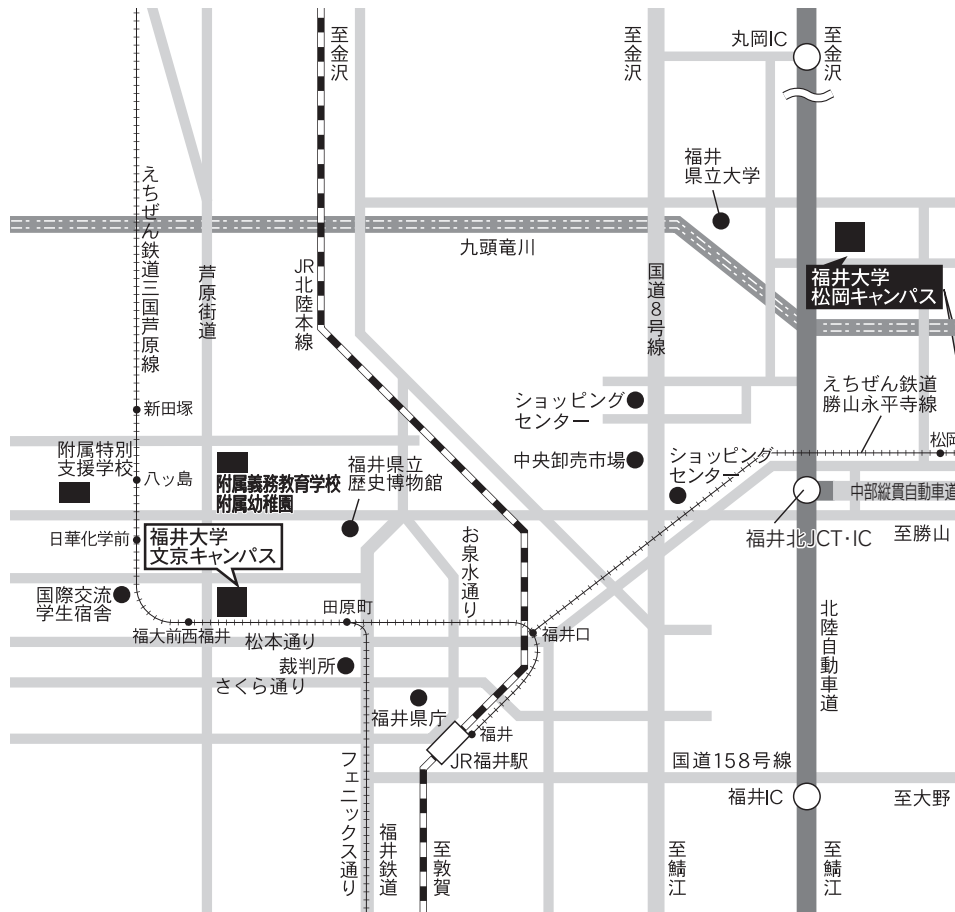
※松岡キャンパス及び敦賀キャンパスには、学生宿舎がありません。本宿舎から松岡キャンパスへは交通機関利用で約50分、敦賀キャンパスには交通機関利用で約1時間30分かかります。

(6) その他

よりよい学生生活を送るために食堂、売店などの福利厚生施設があります。また、下宿・アパート等の紹介は、福井大学生生活協同組合で行っています。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話 0776-21-2956）にお問い合わせください。

福井大学位置図



■松岡キャンパスへの経路

- バス JR福井駅 - (約35分) - 福井大学病院下車
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
 - タクシー JR福井駅 - (約30分) - 福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
 - 鉄道 えちぜん鉄道福井駅-松岡下車、バスに乗り換え約5分
[JR福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
 - 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、
又は丸岡ICから南へ約5km
- ※標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都-湖西線経由-福井
(特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車 大阪・京都-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バス 大阪・京都-<名神・北陸>-福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- JRで 静岡・名古屋-米原経由-福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車 名古屋-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バス 名古屋-<名神・北陸>-福井 (約2時間50分)

東京方面から

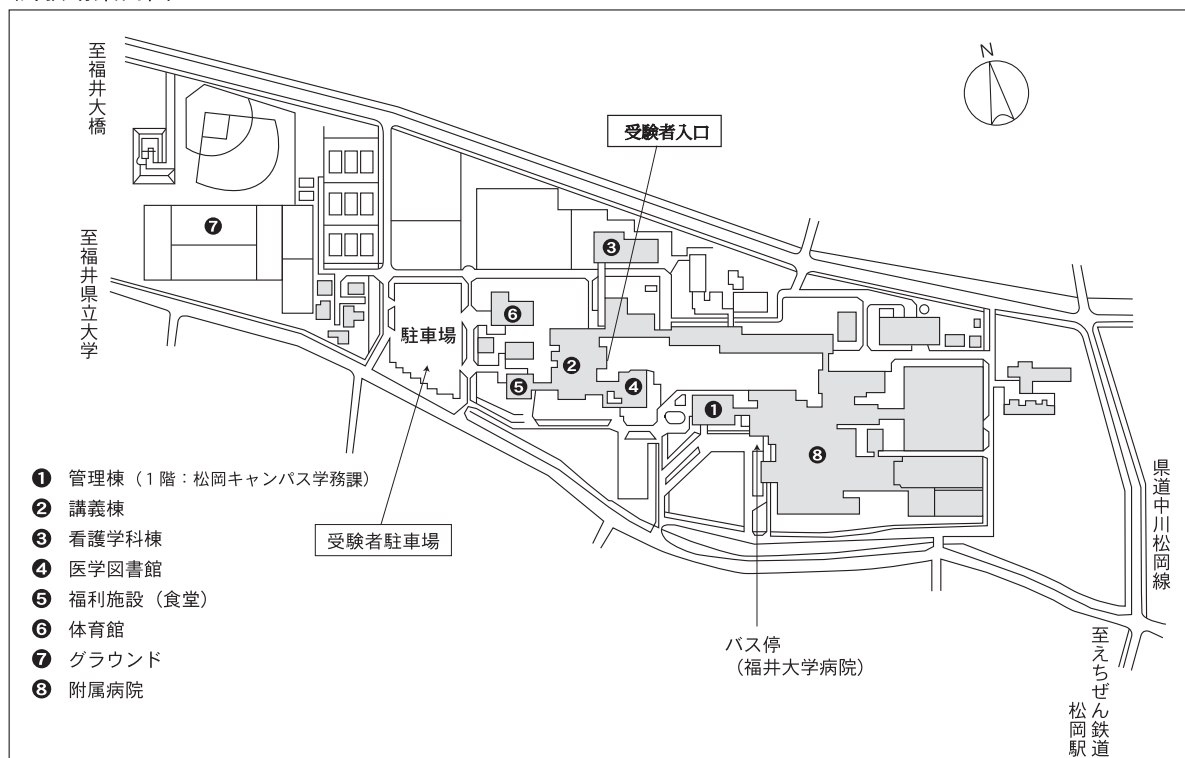
- 飛行機 東京羽田-小松空港(1時間)-福井(連絡バス1時間)
- JR 東京-米原経由-福井(新幹線・特急約3時間30分)
東京-金沢経由-福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車 東京-<東名・名神>-米原JCT-<北陸>-福井北JCT・IC
※高速バスもあります。(約6時間30分)

金沢・新潟方面から

- JR 金沢・新潟-福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車 金沢-<北陸>-丸岡IC (約1時間)



試験場案内図



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部 松岡キャンパス学務課入試担当

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

電話 0776-61-8830

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

【福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】

- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。